

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市富岡地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・当ケアプラザが担当する地域は年々高齢化が進み、高齢化率が29.6%と横浜市や金沢区の平均を上回っています。一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯の増加も進んでおり、さらに長く活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化も進んでいることから、地域支援の担い手不足や世代交代が思うように進まないなど他地区と共通するような現状があります。
- ・山坂の多さも、当地域の高齢者世帯を悩ます大きな要因となっています。
- ・地域では、町内会を単位とする運動会や祭りなどの地域活動が活発に行われており、地域としてのコミュニティは確保されています。また、民生・児童委員などによる福祉保健活動も順調・活発に行われています。
- ・「富岡地域支えあい連絡会」（以下、支えあい連絡会という。）など地域課題を考える各種の会合を通じて地域課題と現状把握に努め、必要な支援を地域と一緒に考えていく必要があります。支えあい連絡会などの場や機能を活かし地域ケア会議等を開き、日頃の相談事や個別のケースを検討し、出てくる地域課題を題材に取り組みました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

（わかりやすい相談対応と説明）

- ・相談者に対して介護保険制度や介護サービス等の説明を行う際、視覚的に分かりやすく、パンフレット、地域インフォーマルサービスを富岡支えあい連絡会で作成した「富岡地域支えあいマップ」等を使用し、説明・紹介を行ないました。
- ・館内に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子がわかる写真を貼ったパネルを掲示し、視覚で訴え、よりわかりやすい説明・紹介に努めました。

（出前講座・出張相談会等の実施）

- ・身近な場所で介護・福祉相談につながるよう、出前講座という形で地域に出向き、介護保険や成年後見等の各制度について説明会を行なうとともに、出前講座の後に相談会を開催しました。

（問題の早期発見）

- ・民生・児童委員や福祉関係者と適宜連絡を取り、支援の必要な高齢者の課題に早期対応できるよう努めます。相談内容に応じて、行政との定例会議等で検討・対応し連携を図りました。
- ・当地域ケアプラザは市営住宅と一体の建物にあり、市営住宅生活援助員との連携を欠かさないようエリアの民生・児童委員を交え生活援助員との連携会議を開き、情報共有をしました。

（子ども、障害分野への対応）

- ・養育者へメールなどで事業や地域情報の発信を行いました。また、主任児童委員と連携を取りながら情報共有に努めました。
- ・相談事があったときは、区役所、関係機関に繋げ連携をとりました。

(2) 各事業の連携

- ・事業の実施にあたり、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携を図りました。
- ・地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターでの定例会を月1回開催し、情報共有を図りました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

（職員体制・育成）

- ・指定管理運営者として必要な有資格者を配置しました。また職員について、幅広い世代からの意見や要望などに耳を傾けたり、相手を思いやることのできる人間性豊かな職員となるように普段から留意し、結果、苦手克服教室など具体的事業にも繋げることができました。
- ・配置すべきそれぞれの職種において、法人本部と連携して適切な人員配置を行いました。
- ・同一法人で運営する地域ケアプラザと勉強会を設け、また互いに情報交換するなどして専門職としてのスキルアップに努めました。
- ・外部研修にも積極的に参加し、スキルアップに繋がりました。

（公正・中立性の確保）

- ・指定管理者が、地域ケアプラザの有する公共性を十分に理解し、趣旨を尊重することは金沢区と当法人が締結した横浜市富岡地域ケアプラザ管理運営に関する基本協定書にも謳われているところであり、公正・中立性の確保も同協定書において求められていることを強く認識してそのように運営を行いました。
- ・地域包括支援センター運営業務は当然のこと、その他地域ケアプラザ全体の運営についても、指定管理者として公正・中立であることが求められています。業務運営にあたっては、職員一人一人の言動を含め、疑念を持たれないように対応しました。
- ・地域ケアプラザ運営の公正・中立性の確保については、毎月開催される事務所会議等普段から機会を捉えてその趣旨を職員に周知・徹底してきました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

(民生・児童委員、保健活動推進員との連携)

- ・保健活動推進員、民生・児童委員などの定例会に参加をして情報共有にとどめず事業の協力への依頼などを行っていきました。
- ・保健活動推進員と連携をとり、商店街の空き家を利用し体力測定を行いました。

(子育てに関するネットワーク構築)

- ・民生・児童委員が実施している子育て支援事業に顔を出し、情報収集、情報提供を行ない、ネットワーク構築に取り組みました。
- ・地域の子育てサークルにも参加をし、地域の中での活動の取り組みに協力していくとともに、多世代の交流を目指しました。

(学校との連携)

- ・4年目を迎える小学校と地域の方たちとの花壇づくりの支援を継続するとともに、個別支援級の生徒との畑作りの支援も継続して行いました。
- ・近隣中学校、小学校、地域の演奏者と連携をしてコンサートを行い、多世代で楽しめる場づくりを行いました。

(地域との連携)

- ・スポーツ推進委員と青少年指導員の行うウォークラリーの協力を行いました。

(5) 区行政との協働

- ・区行政との協働は金沢区と当法人が締結した管理運営に関する基本協定書にも謳われているところです。横浜市地域福祉保健計画や金沢区運営方針の目標達成に向け、区が向かう方向と同一歩調を取り、様々な事業に協力・取り組みました。
- ・地域支援チームの一員として、第3期地域福祉保健計画の推進に向けて、積極的に連携・行動してきました。
- ・必要な情報共有を図ることで、区と同方向で地域福祉に貢献し、市民・地域住民に対して福祉保健サービスの向上に努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

・下記の事業を自主企画事業として実施します。

せせらぎサロン	歌声広場
にじいろコンサート	健康のたちより処
ほほえみくらぶ	いちごクラブ
親子でチャレンジ	けあぷら広場
0～1歳児の講座	ボランティア感謝会
個別支援級に通う小・中学生余暇支援 「ひなたぼっこ」	がんばらない体操の会
サマーフレンド	手作りクッキーでクリスマス会
学校と施設の連絡会	利用者懇談会
コミハ・ケアプラ祭	みんなの歌広場
女性の健康エアロビクス	リハビリ教室
ナイトヨガ	体操の先生になってみませんか
子育て講座	医療講演会
頭・体・体操	シニアパワー
学生ボランティア発掘（市大）	おやじのクッキング
とび箱・マット教室	認知症講座
多世代交流	多世代交流カレー昼食会

（多世代の交流）

・子育てサークルと地域のシニアとの交流会を開催し繋がりづくりを行いました。

（継続した関わり）

- ・子育ての世代との関係性を構築するために、0～1歳児の講座、2～3歳講座、3～6歳講座、小学生講座を開催します。養育者との関係性をもつような事業を行ないました。
- ・子育て事業、障がい児・者事業は継続した関係づくりを行いました。
- ・夜間帯の事業を行うことで、幅広い世代にケアプラザを知って頂き、日中は仕事をしている世代にもボランティア活動に繋がりました。
- ・モデル事業から自主活動となる地域の方たちと学校の花壇づくりは、先生と話し合いながら花壇だけではなく、生徒との交流をより多くもてるように幅広く活動しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・福祉保健活動に発展するように、団体登録時と登録後に働きかけを行い、デイサービスの慰問などを行っていただきました。また、ケアプラザの事業にも協力してもらおうように働きかけました。
- ・館内の見やすい場所にケアプラザの空き情報を掲示しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア感謝会を開催し、いろいろなボランティア活動があることの周知、ボランティア同士の交流会を行いました。
- ・地域の施設からの依頼などがあった場合、ニーズに合わせて利用団体の声をかけボランティア活動に繋げていきました。
- ・認知症の理解をボランティアにも深めてもらうために、認知症サポーター養成講座を行いました。

(ボランティア募集)

- ・自主事業を通じてボランティアを募る他、募集チラシを館内掲示やケアプラザ広報誌に掲載しました。
- ・サークル団体の活動を活かし、デイサービス等での活動ができるよう繋げました。

(人材・担い手の育成と活動継続の支援)

- ・ケアプラザ事業でアンケートを取る際に、ボランティアにおこなってみたいかの項目を設け、ボランティアに繋げました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(情報発信)

- ・ケアプラザ利用団体の参加者募集なども広報紙「あっとほーむ」に掲載しました。

(地域関係団体活動への参加、情報共有)

- ・地域の定例会、サロン、地域行事に参加し情報提供、情報収集を行ない、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと共有できるように記録を残しました。
- ・会場利用団体の交流会を開催し、情報交換を行ないました。
- ・貸館団体が広く周知されるように、紹介ボードを作成しました。
- ・登録団体を対象とした利用者懇談会を開催しました。懇談会では、参加団体の紹介や活動内容、情報交換、ケアプラザの利用について、利用者アンケートの報告など行いました。
- ・高齢化による利用団体の減少に対応するために貸館利用団体の紹介表を館内に掲示し、来館者に活動の周知を行いました。
- ・ケアプラザの広報誌で地域のお祭りの情報提供を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・区社協生活支援コーディネーター、区役所との定期会議に出席し、市区内の事業推進の方向性を共有しました。
- ・事業推進については5職種会議を月1回程度開くことで、担当地区での事業の方向性について協議し、ケアプラザ全体として推進に取り組みました。
- ・地域の健康づくり元気づくり、地域サロンやその他の事業に参加し、取り組みについて地域住民に知って頂けるよう努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・個別のニーズを地域包括支援センター3職種からも情報を得て把握をしました。
- ・既存の地域ケア会議や支えあい連絡会などに地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーターとともに出席し、地域の課題、解決すべき問題を把握しました。
- ・住民による活動、生活支援サービス、サロンや健康づくり元気づくりの集まりに参加し、生きた繋がりを作るよう努めました。
- ・様々なデータを基に地域の資源把握と分析に取り組みました。

(3) 連携・協議の場

- ・地区社会福祉協議会、民生・児童委員の定例会に引き続き参加し、地域の状況把握に努めるとともに、ケアプラザの活動を発信しました。
- ・地域のサロンや健康づくり、介護予防にかかる事業などへの参加を継続し、活動の実際を知るように努めました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・生活支援コーディネーターの定期連絡会に出席し、区役所、区社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携、情報共有をしました。これを通じ市域の動向を知り、担当地域での課題解決に活かせるように努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・地域の福祉保健関係団体、医療関係機関、介護サービス事業所等の専門機関だけでなく、自治会・町内会、地元商店会も含めた幅広いネットワーク構築を行いました。

(支えあい連絡会・地域ケア会議の開催)

- ・生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携し「支えあい連絡会」の機能を活かし包括圏域の地域ケア会議の開催しました。課題の解決に向け地域とともに考えました。

(対象エリアを超えたネットワーク・医療と介護の連携構築)

- ・区内包括北部エリアの4ヶ所の地域包括支援センター協働「在宅医療連絡会」を年2回開催しました。

(地域住民との連携構築)

- ・地域の福祉ネットワーク構築の充実目標に地域の福祉保健関係団体、主として民生・児童委員とケアマネとの意見交換会を担当エリアで実施しました。

②実態把握

(相談内容から集計・分析)

- ・日頃の相談から地域の実態を知るため、総合相談票を集計し「相談や介護が必要となった理由」を知ることで、業務の方向性を見据えました。
- ・日ごろの相談から実態把握をし、事業の方向性を定めるなど業務に反映させました。

(地域のデータから知る)

- ・高齢化率などのデータや社会資源を地図等に落とし込み、地域の実態を「見える化」します。「見える化」したデータは随時更新し、グラフや表にしてケアプラザ廊下等に掲示を続けました。

(地域との情報共有)

- ・民生・児童委員、配食や町内会のボランティア等から情報を受け、また、ケアプラザから情報を伝え、互いに情報を共有して、支援を必要とする方、必要となりそうな方の把握に努めました。
- ・担当地区に2か所ある市営住宅生活援助員や、地域の民生・児童委員と連絡を取りあい要援護者の情報を共有、実態把握に努めました。

(地域サロン等への参加)

- ・顔は知っていてもなかなか挨拶もできないでいた住民どうしが繋がることのできる場にとともにいることで、生きた情報と実態の把握ができました。
地域にある複数のサロンに地域活動交流・生活支援コーディネーターと地域包括支援センターで顔を出し、来ることができなくなる人＝支援が必要になりそうな人等の早期発見・把握に努めました。

(ひとり暮らし高齢者見守り推進事業)

- ・横浜市の事業である「ひとり暮らし高齢者見守り推進事業」を、民生・児童委員、金沢区との連携で行い、対象となる住民の実態把握に努めました

③総合相談支援

(総合相談機能の周知)

- ・当地域包括支援センター作成の顔写真入り案内カードを地域の催し等で配布し、総合相談機能の周知・PRに努めました。
- ・相談票から「センターを知った経緯」を集計し、その結果をまとめ、効果的にPRする基礎資料にしました。

(相談対応、相談後の記録管理)

- ・地域包括支援センター職員間で共有できるよう総合相談・継続記録を管理します。
- ・地域包括支援センターで関わるケースを見通せるよう昨年作成した検索リストを引き続き管理し、更新しました。
- ・山坂の多い地区であり、相談に来たくても来ることができない方には、随時訪問し相談対応をしました。

(情報提供の工夫)

- ・相談者への情報提供は、介護保険サービスだけでなく地域のボランティア活動、健康づくり等のインフォーマルなサービスについて随時紹介しました。
- ・相談室に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子の写真を貼ったパネルを掲示し、視覚的に訴えわかりやすい情報提供をしました。

(出前講座・出張相談会等の実施)

- ・ケアプラザから遠い地区で相談に来られない方のために、2/23(土)に小田コミュニテ

イハウスにて「わかりやすい介護保険と成年後見制度」を実施しました。講座終了後個別に相談会を開きました。課題の早期把握・対応に繋がりました。

(地域と連携した相談対応)

- ・相談対応を通して把握した困りごとやニーズを、民生・児童委員や地域のボランティアに伝え、地域とともに生活のしづらさの解決に動きました。

(職員の研修参加)

- ・適宜、研修に参加します。参加職員は情報が共有できるように研修資料を職員回覧周知し、日々の相談業務に活用できるようにしました。

(ご利用者向けのアンケート)

- ・相談業務の質の向上を図る目的で「利用者アンケート」を実施しました。結果の集計と、頂くご意見から相談業務に活かしました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(制度の普及と相談会の開催)

- ・地域住民への制度の普及を目的とした出前講座を2/23(土)に小田コミュニティハウスにて「わかりやすい介護保険と成年後見制度」を実施した。
- ・「シルバーライフ安心講座」を3/4「人生の受持月を迎えるために整理する物」、3/18「現役世代にもきいてもらいたいこれから必要なお金の話」を開催し、制度の説明や啓発等を行ないました。
- ・いずれも講座終了後に、個別相談会を開催した。

(消費者被害の防止)

- ・被害が心配されるケースには、防止のためのシール(消費生活総合センター作成)を配布、玄関先に貼ってもらうように働きかけを行いました。
- ・悪徳商法の最新情報を、介護者のつどい、元気づくりステーションや健康づくり教室等の参加者に話をしていきました。
- ・ひかりヶ丘町内会で、消費者被害防止のため「振り込め詐欺の手口」講座を実施、金沢警察生活安全課に情報提供を頂きました。
- ・被害に遭った方、そのご家族、民生・児童委員や介護関係者から情報を得て、地域住民や他包括センター等と共有し被害情報の記録整理をしました、町内会などで得た情報を富岡駐在所と情報共有を行いました。

②高齢者虐待への対応

(地域の福祉関係者との連携)

- ・地域包括支援センターの機能と役割を随時周知し、地域福祉関係者、各関係機関と常に連携をとり、早期発見・早期対応に繋がりました。

(他機関とのネットワーク構築)

- ・「ネットワークミーティング」等の連携会議の開催までのケースはありませんでしたが、区役所と情報の共有を行いました。

(虐待の理解と周知による防止策)

- ・虐待の防止を図るため、また養護者支援の視点を欠かさないう「介護者のつどい」等の場を活用し、養護者介護者との関係づくりをし、虐待に至る前に早期発見に努め、虐待防止に繋げるため、11/22に能見台ケアプラザと共催で「地域で暮らすた

めの安心・法律知識」を開催しました。

③認知症

(実態把握)

- ・地域包括支援センターの機能を活かし相談を受け、総合相談票で「相談が必要となった原因」を聞き取り、集計により実態把握を続けました。

(認知症理解の普及・啓発)

- ・地域住民を対象に空き店舗を活用し認知症カフェを生活支援との共催で10月から月1回で開催しました。
- ・「認知症予防の方への支援」と題し、2/14 富岡地域ケアプラザ多目的ホールで講座を開催しました。

(認知症キャラバンメイトとの協働・後方支援)

- ・地域の認知症キャラバンメイト（以下、キャラバンメイト）と協働して、地域活動交流自主事業等と連携し、地域ボランティア活動に参加してくれている方を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。(6/3・11 二回開催)
- ・キャラバンメイトが地域包括支援センターの担当エリア内で活動できるよう、認知症サポーター養成講座の内容をともに考え、活動場所の提案・提供を行ないました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

(民生・児童委員、ケアマネジャーとの連携推進)

- ・民生・児童委員とケアマネジャー、ケアプラザとの意見交換会を実施します。民生・児童委員とケアマネジャーが顔を知る機会とし、共に考え、意見交換できるようなテーマを設定し実行しました。

(インフォーマルサービスの開発と情報収集)

- ・介護保険出張講座、出張相談会などを行いました。また地域に出向くことで地域のニーズや課題を把握、分析し地域ケア会議などに活用しました。

②医療・介護の連携推進支援

(医療機関とケアマネジャーの意見交換)

- 金沢区薬剤師会との意見交換会を医療と介護の連携推進を目的に区内の全包括支援センター協働で開催しました。
- ・区内包括北部エリア4か所の地域包括支援センターが協働で年2回、「在宅医療連絡界」を開催します。事例を挙げ、在宅での医療・介護それぞれの視点、立場からケースの課題解決に向けてのディスカッションを行いました。
- ・金沢区内外の病院医療ソーシャルワーカーと区内の包括支援センターとの連絡会を開き、意見交換を行いました。

※いずれも他ケアプラザ包括との共同事業です。

③ケアマネジャー支援

(随時の個別相談・支援困難ケース等の対応)

- ・随時、担当エリア内外のケアマネジャーの相談対応をしました。必要に応じて同行訪問し、ケースにより必要と思われる機関（行政機関、民生・児童委員、医療機関）に繋げ、協力を仰ぎました。
- ・ケアマネジャーが適切に地域情報を得られるように「富岡エリアマップ」等で生活支援コーディネーターと共に情報提供しました。
また、地域特性や対象者の地域での立場などの情報をケアマネジャーに伝えることで地域とケアマネジャーが連携を図ることができるよう支援しました。

(地域ケア会議でのケース選定)

- ・ケアマネジャーの担当ケースから事例を選定し、多職種で解決に向けて検討することでケアマネジャーの負担軽減、精神面の安定を図ることができるよう支援しました。

(民生・児童委員とケアマネジャーとの連携支援)

- ・富岡第一地区民生・児童委員との意見交換会を並木地域ケアプラザと協働で開催しました。
- ・富岡第三地区民生・児童委員との意見交換会を実施しました。
- ・両地区ともテーマを決め、グループワークで意見交換を行い、顔見知りの関係を作りました。

(金沢区北部4包括 富岡東、能見台、並木、富岡の包括支援センター協働)

- ・「ケアマネカフェ」を年2回の予定で実施しました。気軽に参加でき、困っていることや悩みごとを相談し、日々の業務の活力に繋がられるように雰囲気づくりに努めました。
- ・ケアマネジャーのスキルアップを目的とした事例検討会を年2回の予定で行いました。
- ・「在宅医療連絡会」を年2回開催しました。金沢区医師会、薬剤師会に企画段階から協力を仰ぎ、在宅介護において医療と介護の連携を図ることができるよう内容に工夫を凝らしました。

(金沢区の全地域包括支援センター協働)

- ・薬剤師とケアマネジャーの意見交換会の開催。
- ・区内勤務の新任ケアマネジャーを対象とした「新任ケアマネジャー研修」をシリーズで3回開催。
- ・「ケアマネ倶楽部」役員会に出席し連携を図りました。
- ・居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員を対象に金沢区主任、ケアマネジャーネットワークを年2回計画しました。研修以外にも課題解決などを目的としたグループワークを企画し、主任ケアマネジャー同士の繋がりを図りました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別のケア会議で課題を抽出し、地域で解決するために地域包括支援ネットワーク構築を目的に「地域ケア会議」を開催しました。
- ・「個別」の問題を地域、医療、介護の連携を視野に入れ、地域課題を抽出し、出た課題を題材として具体的な取り組みができるか地域と共に考えました。
- ・「支え合い連絡会」などの既存の会議を活用し、地域ケア会議にするなど工夫しました。
- ・包括レベル地域ケア会議では昨年に引き続き、マップづくりから見えてきた地域、包括の見守り支援から外れてしまっているケースを検討する機会として、また、新たなケースを発掘し、地域住民と共に事例を深めていく場としました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

（地域と連携するケアマネジメント）

- ・横浜市平均よりも高齢化が進む地域である事を念頭に、一人暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから認知症予防や閉じこもり予防を意識して関わりました。
- ・担当の地区には元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサークルをはじめ、各町内会、地区社会福祉協議会が運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かし、ケアプランにはインフォーマルの受け皿を取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案しました。
- ・地域の特性を理解し、社会資源を「マップ化」「見える化」した基礎資料を作成（更新）し、この資料を基に要支援、介護予防段階の方が介護保険にとどまらず、地域に繋がり、積極的参加ができるよう情報提供するとともに、活動に繋がるよう支援しました。

（ケアマネジメントの委託）

- ・委託でケアプランを依頼しているケアマネジャーとともに、サービス担当者会議に参加し、その方に適したケアマネジメントを一緒に考えるようにしました。

（介護予防・認知症予防と知識の普及啓発）

- ・認知症の相談が増えています。認知症の正しい知識の周知を目的として地域のキャラバンメイトの皆様とともにサポーター養成講座を開催しました。
- ・今年度で6年目になる「とみおか健康フェア」を地域住民と共に企画し、健康に対する啓発活動を行い健康寿命の延長を考える機会としました。
- ・地域の関係機関と連携しながら健康づくり、生きがいつくりの充実を図り、住みよいまちづくりを共に考えました。
- ・医師等による「脳の病気あれこれ」「認知症講座」等を開催し、地域住民向けに知識の普及啓発を行いました。

（ラジオ体操）

- ・ラジオ体操がエリア内の4か所の公園で毎朝実施されています。口コミで、地域を越えて、参加者が増えるとともに緩やかながら交流の場にもなっています。地域の前向きな取り組みとして、地域住民に適宜情報提供しました。

（地域サロン等への参加）

- ・地域サロン等へ地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域交流コーディネーターと参加し、必要に応じて介護予防の話などを実施しました

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

高齢化率が高く、山坂の多いという生活し難い地域です。訪問時に一人暮らしや高齢夫婦2人の生活不安や災害時の心配の声が聞かれます。すぐに解決できないことが多いですが、包括にできることは何かを考え、支援に結びました。

(健康づくり・元気づくり)

- ・今あるサービス、地域で実施しているラジオ体操、元気づくりステーション、サロン等を紹介し繋げる事はもちろん、様々な層の高齢者の思いに沿う場作りを地域の皆様と一緒に考えました。
- ・地域に出向いて、健康づくりや介護予防の講座(栄養講座・口腔ケア・ロコモ講座)を開催しました。
- ・各町内会で行なわれている体操教室や元気づくりステーションに出向き健康講話と年1回の体力測定で体操講師からのコメントを入れた結果返しを行い、「自分の健康は自分でつくる、自分でまもる」という意識を高めて頂けるよう、継続して通い続けることの大切さを伝えました。

(支えあいマップ)

- ・地域住民と一緒に「支えあいマップ」作りを行い、活動に参加していない、または参加ができなくなっている高齢者等を把握し、そのような高齢者が活動に参加できるようにお誘いしました。

(カフェ・サロンの開催)

- ・認知症カフェの理念にも繋がるよう住民参加型のカフェの開催、充実を図り、気軽に集い、認知症のことなど、何でも相談できる居場所作りに努めました。

5 その他

- ・地域ケアプラザの大きな仕事は、ネットワークの構築にあると考えて業務に取り組んでいます。地域包括ケアの実現に向けて、日々の活動を振り返り、地域課題を探り、具体的な取り組みができるか地域とともに考えました。
- ・高齢化率の高い地域の状況や地域の社会資源を「マップ化」「見える化」して、地域福祉保健計画に沿って業務を遂行しました。
- ・地域特性を理解し、社会資源の開発等について地域住民とともに「地域支えあい連絡会」で考え、「地域ケア会議」を通して住民・関係機関とのネットワークの構築に努めました。
- ・これらの実施にあたっては生活支援コーディネーター、地域交流コーディネーター、地域包括支援センターが一体となり進めました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・法人全体として建物設備管理会社と契約し、いつでも連絡が取れる体制を採り、施設に関する相談に応じてもらったり、来所して速やかに対応してもらえる体制を整え、運用しました。
- ・区との「管理運営に関する基本協定書」に基づき、建物設備管理会社と連携の上、保守点検や定期清掃等を計画的に実施しました。
- ・日頃から職員による目視点検を行い、改善が必要な個所がないか確認しました。
- ・施設の外回りにおいても美化清掃を実施し、利用しやすい施設作りに努めました。
- ・修繕が必要と思われる事案が発生した場合は、速やかに区に報告・事前協議を行い、必要な対策を講じました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・備品や物品購入は、品質・価格・納期などの内容を総合的に検討し、適正に購入しました。
- ・委託業者については、法人一括で入札から決定することで、スケールメリットを生かしながらサービスの質を落とすことない支出を実施しました。
- ・法人内の会議において業務効率を図るための取り組みを共有し、無駄のない経営に取り組みました。

(3) 苦情受付体制について

- ・苦情申し入れに応じた役割や解決までの苦情処理システムフローを活用し、苦情解決の実現をめざしました。
- ・「苦情相談窓口」の案内を見やすい場所に貼付して施設利用者への周知を図りました。
- ・貸館利用団体の交流会などを活用し、気軽に苦情や要望などを申し入れしやすい環境を整えました。
- ・各部署に苦情担当者を配置して、苦情を受付けた際は誠意をもって対応するよう、苦情解決責任者が必要な対策を図ることを目指し、体制を整えました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・区からの要請を踏まえたマニュアル等を整備し、また管理職員の不在時の緊急体制も整えました。
- ・区指定の福祉避難場所として、適切な応急備蓄物資の配備・管理を行うとともに、災害発生時における開設へ備えました。
- ・職員連絡体制としては、職員連絡表を作成し、広範な事態発生に備えました。
- ・年2回の防災訓練の実施や防災マニュアルの確認の他、併設する富岡西ハイツと共同して防災訓練を実施し、相互援助の関係を深めました。
- ・毎日、担当者による防火防犯面からの目視点検を行いました。
- ・セキュリティー会社と24時間の連絡体制を確保し、防犯・防災に努めました。

(5) 事故防止への取組について

- ・利用者が安心して利用できるように、日頃から事故につながる恐れがある危険因子の早期発見に努め、報告を回覧・情報共有するなどして予見可能な事故を未然に防ぐようにしました。
- ・回避困難な突発的な事故や利用者の急病などについては、安全及び人命維持を第一に、迅速に対応することとしていましたが、幸いそのような事故等は発生しませんでした。
- ・法人内の事例や他のケアプラザにて発生した事故などについても情報把握に努め、事故防止に対する対応を検討しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報保護に関する条例」、当法人の「個人情報保護規定」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報保護に努めました。
- ・外部への情報発信に関してはダブルチェックを徹底し、情報処理の適正化に努めました。
- ・パソコンや個人情報書類などは、パスワード管理や施錠できる場所に保管するなど厳格な取り扱いを周知・徹底しました。
- ・個人情報の漏洩を防止するため、業務事例などを用いて実践的な研修を実施しました。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 運営状況・事業計画・報告及び当法人のパンフレットなどを、常時閲覧できる場所に設置した他、法人のホームページにおいても最新の情報を提供しました。
- ・ 介護サービス事業に関しては、情報公表サービスの公表制度に則り、ホームページ上でサービス水準等を公表しました。また、記載事項の点検を行うとともに、変更事項があった際は同サービスのホームページの更新を通じて速やかに公表しました。
- ・ 地域への配布回覧広報誌「あっとほーむ」を隔月ごとに発行し、ケアプラザが行う各種事業や出来事などを、写真や資料などを用いて公表しました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 指定管理者の基本姿勢として、様々な人権問題があることに配慮すること、また人権を考える機会をより多く設けることを念頭に、職員の意識向上に継続的に取り組みました。
- ・ 事務所会議など定例的な会合などを利用し、タイムリーな人権問題等をテーマに取り上げ、普段からの人権啓発を行いました。
- ・ 高齢者や児童の虐待など、業務上でも取り組む可能性の高いものについては、特に意識的に課題追求の取り組み姿勢で対応するように努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・フロンガス・水銀・アスベスト等特に環境等への影響が大きなものについては、慎重に把握し、報告しました。
- ・冷暖房は適正温度に設定し、送風機などを活用して省エネに努めました。
- ・車両に関しては、急発進やアイドリングなど無駄な燃料消費を防ぐことや定期点検や運行前点検を実施し、安全と環境に配慮した車両維持に努めました。
- ・利用者に不快な気持ちを与えないよう配慮しながら、気候に応じた服装でクールビズ・ウォームビズに取り組みました。
- ・「3R夢プラン」に順じて、ゴミの発生抑制・再使用・再生利用に継続して取り組みました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名【常勤】
社会福祉士	1名【常勤】
主任ケアマネジャー	1名【常勤】
介護予防プランナー (介護支援専門員)	1名【非常勤】

《目標に対する成果等》

- ・横浜市平均よりも高齢化が進んでいる地域である事を念頭に、一人暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから認知症予防や閉じこもり予防を意識して関わりました。
- ・担当の地区には元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサロンをはじめ、各町内会、地区社会福祉協議会が運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かし、ケアプランにはインフォーマルサービスを取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則、利用者負担はありません。
但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・対象エリアは、昭和40年代に開発された住宅地で山坂が多く、公的な機関も小・中学校・コミュニティハウスのみです。生活するうえで様々な社会資源についての情報を求められることから、地域を巡回する移動販売車のルートや地元商店街情報など、暮らしに密着した地域の情報を提供し、暮らしづらさの解消に努めました

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
193	196	202	203	196	196
10月	11月	12月	1月	2月	3月
199	194	194	192	193	193

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）

常勤兼務 1名 ※管理者を兼務

常勤専従 4名

非常勤専従 1名

合計 6名（内、主任介護支援専門員2名）

《目標に対する成果等》

- ・ 住み慣れた地域にて安心して生活が営めるよう、ご利用者及びご家族の気持ちに添った寄り添ったケアプランを作成することを心掛けました。
- ・ 介護保険サービスに偏ることなく、地域におけるインフォーマルサービスを取り入れたケアプランを作成しました。
- ・ 利用者情報の伝達や共有する会議を毎週実施し、質の高いサービスを提供しました。
- ・ 新たな介護サービスの利用時には、複数の事業所のパンフレットや料金表などの情報を提示し、細やかな特色を伝え、選択してもらうよう心掛けました。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師等との医療関係者と連携を図ることで、利用者の疾患悪化を予防し、在宅生活を維持出来るよう対応しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則、利用者負担なし。

但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 2名の主任介護支援専門員を配置し、より質の高いサービスを提供する特定事業所加算Ⅱを算定。
- ・ 24時間での相談体制を確保する事で、支援困難ケースも対応します。
- ・ 看護師、介護福祉士、主任介護支援専門員の有資格者により、地域における多様なケースを担当致します。
- ・ 経験年数に応じた年間研修計画書を作成し、研修会へ積極的に参加することで、常に資質の向上につなげるよう努めます。
- ・ 他事業所と連携し、困難ケースの対応等を話し合う事例検討会を開催しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
161	164	160	164	158	159
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	154	154	157	151	154

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認・介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、レクリエーション、相談援助等行いました。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り、必要なサービス提供を実施しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | |
|----------------------|---------------|---------------|
| ● 1割負担分 | ● 2割負担分 | ● 3割負担分 |
| (要介護1) 599円(認1072円) | 1197円(認2144円) | 1795円(認3215円) |
| (要介護2) 708円(認1188円) | 1415円(認2376円) | 2123円(認3564円) |
| (要介護3) 816円(認1305円) | 1632円(認2609円) | 2448円(認3914円) |
| (要介護4) 926円(認1422円) | 1851円(認2844円) | 2776円(認4266円) |
| (要介護5) 1034円(認1539円) | 2067円(認3077円) | 3101円(認4616円) |
| ● 食費負担 | 680円(1回) | |

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00~15:30(認知症対応型 9:15~16:15)

《職員体制》

- | | |
|----------------|-----------|
| 管理者 | 1名(常勤兼務) |
| 生活相談員(兼介護職員) | 3名(常勤兼務) |
| 介護職員 | 14名(非常勤) |
| 看護職員(兼機能訓練指導員) | 8名(非常勤兼務) |
| 調理員 | 5名(非常勤) |
| 運転士 | 7名(非常勤) |

《目標に対する成果等》

- ・中重度の要介護者(食事が摂れず、動けずにいた方等)も積極的に受け入れ、昼食の確保や歩行介助等により、ADLの維持、介護者の負担軽減につながりました。
- ・ADLの維持に心がけ、ご本人に意思決定をしていただいたプログラムに参加することで、心身の活性を図り、楽しんで運動にも参加いただきました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・囲碁・将棋・麻雀・カラオケ等個別のレクリエーションなどを行っています。
- ・個々の状態に沿った、食事形態・介助等を行っています。
- ・平行棒を使って歩行する機会を作っています。

《利用者実績(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
637	697	684	705	748	741
10月	11月	12月	1月	2月	3月
790	786	715	716	778	851

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

●健康状態の確認・介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、レクリエーション、相談援助等行いました。

●担当ケアマネジャーと連携を図り、必要なサービス提供を実施しました。

《実費負担》

● 1割負担分 ● 2割負担分 ● 3割負担分

・週1回程度利用	1766円	3531円	5297円	(1月につき)
・週2回程度利用	3621円	7241円	10861円	(1月につき)
●食費負担	680円(1回)			

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00~15:30

《職員体制》

管理者	1名(常勤兼務)
生活相談員(兼介護職員)	3名(常勤兼務)
介護職員	14名(非常勤)
看護職員(兼機能訓練指導員)	8名(非常勤兼務)
調理員	5名(非常勤)
運転士	7名(非常勤)

《目標に対する成果等》

・自立した生活が継続できるようケアマネジャー等にご利用状況等の報告を行いました。

・要介護状態にならないよう機能訓練を兼ねた運動プログラムを取り入れました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

日常生活上必要なりハビリプログラムを取り入れ生活機能の維持・向上に取り組んでいます。

《利用者実績(契約者数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	15	18	16	16	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	15	15	14	15	16

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
せせらぎサロン	地域	38944	地活	0	0	39580	3341	34464	1139
	727人		包括						
	0円		介護						
			生活						
ほほえみくらぶ	養育者及び乳幼児	44037	地活	12637	31400	0	34499	9538	0
	381人		包括						
	200円		介護						
			生活						
0～1歳児講座	養育者及び乳幼児	45836	地活	35036	10800	0	44544	1292	0
	130人		包括						
	200円		介護						
			生活						
ひなたぼっこ	障害児・者	69147	地活	11647	57500	0	13363	33758	22026
	182人		包括						
	500円		介護						
			生活						
サマーフレンド	障害児・者	3660	地活	3660	0	0	0	0	3660
	30人		包括						
	0円		介護						
			生活						
いちごクラブ	子ども・青少年	2517	地活	0	37700	0	0	2517	0
	912人		包括						
	100円		介護						
			生活						
ボランティア感謝会	地域	21675	地活	21675	0	0	3341	18334	0
	39人		包括						
	0円		介護						
			生活						
コミハ・ケアプラ祭	地域	120239	地活	44899	0	75340	6682	0	113557
	200人		包括						
	0円		介護						
			生活						
歌声広場	高齢者	66816	地活	13716	53100	0	66816	0	0
	547人		包括						
	100円		介護						
			生活						
親子でチャレンジ	子ども・青少年	37697	地活	1297	36400	0	0	37697	0
	184人		包括						
	700円		介護						
			生活						
手作りクッキーでクリスマス会	障害児・者	3265	地活	0	6000	0	0	3265	0
	17人		包括						
	1000円		介護						
			生活						
ナイトヨガ	地域	267288	地活	89688	177600	0	267288	0	0
	604人		包括						
	300円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
にじいろコンサート	地域	27000	地活	27000	0	0	0	0	27000
	232人		包括						
	0円		介護						
			生活						
みんなの歌広場	高齢者	61248	地活	32548	28700	0	61248	0	0
	300人		包括						
	100円		介護						
			生活						
多世代交流カレー昼食会	地域	8401	地活	0	8600	0	0	8401	0
	79人		包括						
	100円		介護						
			生活						
多世代交流	養育者及び乳幼児	3772	地活	3772	0	0	2227	1221	324
	22人		包括						
	0円		介護						
			生活						
年末大掃除	地域	3295	地活	3295	0	0	0	0	3295
	17人		包括						
	0円		介護						
			生活						
ケアプラカフェ	地域	32179	地活	0	0	33320	0	30232	1947
	418人		包括						
	70円		介護						
			生活						
頭・体・体操	高齢者	14581	地活	0	25400	0	5568	7622	1391
	130人		包括						
	200円		介護						
			生活						
認知症講座	地域	2193	地活	2193	0	0	0	0	2193
	30人		包括						
	0円		介護						
			生活						
跳び箱・マット教室	子ども・青少年	11136	地活	4736	6400	0	11136	0	0
	69人		包括						
	100円		介護						
			生活						
おやじのクッキング	高齢者	67265	地活	37265	30000	0	38976	27493	796
	66人		包括						
	500円		介護						
			生活						
子育て講座	養育者及び乳幼児	5568	地活	5568	0	0	5568	0	0
	27人		包括						
	0円		介護						
			生活						
健康のたちより処	地域	470	地活	470	0	0	0	470	0
	105人		包括						
	0円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
がんばらない体操の会	高齢者	12185	地活	4835	7350	0	7500	4685	0
	94人		包括						
	300円		介護						
			生活						
体操の先生になってみませんか	地域	7500	地活	7500	0	0	7500	0	0
	15人		包括						
	0円		介護						
			生活						
認知症カフェ	地域	106016	地活		0	0	0	0	106016
	38人		包括						
	0円		介護						
			生活	106016					
がんばらない体操の会	高齢者	12188	地活		7350	0	7500	4688	0
	94人		包括						
	300円		介護						
			生活	4838					
体操の先生になってみませんか	地域	7500	地活		0	0	7500	0	0
	15人		包括						
	0円		介護						
			生活	7500					
富岡コグニサイズ	地域	88000	地活		55800	0	88000	0	0
	186人		包括	32200					
	300円		介護						
			生活						
スマイルカフェ	高齢者	8475	地活		10000	0	0	8475	0
	100人		包括	0					
	100円		介護						
			生活						
健康フェア	地域	12505	地活		0	6100	0	0	12505
	65人		包括	6405					
	0円		介護						
			生活						
西ハイツサロン	地域の方	6086	地活		5700	0	0	0	6086
	57名		包括	386					
	100円		介護						
			生活						
介護者のつどい	地域の方	4931	地活		1800	0	0	3999	932
	66名		包括	3131					
	無料		介護						
	5月のみ1人300円		生活						
シルバーライフ安心講座	地域の方	10568	地活		0	0	10568	0	0
	41名		包括	10568					
	無料		介護						
			生活						
富岡第三地区 民生・児童委員とケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	691	地活		0	0	0	0	691
	29名		包括	691					
	無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
せせらぎサロン	(目的) 交流の場、見守りの場 (内容) サロンの中で、自由におしゃべりができる時間とゲストによる音楽演奏を楽しんでもらいました。またボランティアさんと参加者との交流の場としました。	毎月第1、3 木曜日 (8月は休み) 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほほえみくらぶ	(目的) 2～3歳児を対象に就園前の友達づくり、養育者の情報交換の場 (内容) お菓子作り、親子体操、音楽レクリエーション、サッカー、リトミック	毎月第4水曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
0～1歳児講座	(目的) 子どもが生まれての地域とのつながり作り、情報交換、情報収集の場。また、0歳からケアプラザの事業に参加してもらうことで、長い期間の顔の見える関係づくり (内容) ベビーマッサージ、ママのためのヨガ、離乳食講座、リンパの流れのストレッチおちゃ会などを行いました。	4. 5, 7, 9, 10. 11. 3月 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひなたぼっこ	(目的) 障がい児の放課後の居場所作り。地域のボランティアさんに参加をしてもらい、地域の中での見守り (内容) 調理、体操、外出などを行いました。	毎月第2土曜日 (8、12月は休み)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サマーフレンド	(目的) 夏休みの場の提供。親のレスフェイト (内容) 外出支援として、マリーシャトルに乗りました。	年1回、8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いちごクラブ	(目的) ほほえみくらぶを卒業して幼稚園や保育園に通ってしまう子を対象に、ケアプラザとのつながり作り、情報交換の場 (内容) 遊びの中から体を動かすことの楽しさを学びました。 動物歩き、リズムトレーニング、ボール遊びサーキット、鉄棒、トランポリンなど使って運動を行いました。	毎月第1水曜日 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	(目的) 日頃からケアプラザ内でのボランティア活動をしていただいている方への感謝会 (内容) 食事会と三味線と尺八の演奏を行いました。	3月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミハ・ケアプラ	(目的) 地域の方への日頃の感謝やケアプラザの周知 (内容) 子供のブース、ゲームコーナー、体力測定など行いました。	10月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声広場	(目的) 声を出すことでの健康づくり 閉じこもり予防。 (内容) ピアノに合わせて全員で童謡、唱歌、今の歌などを歌いました。	毎月第1金曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でチャレンジ	(目的) 親子で一緒にお菓子を作ることやひとつのことを協力して行うことの時間を楽しんでもらう。また、小学生の講座を行うことでケアプラザの周知を行いました。 (内容) 肉まん、あんまん、ピザまん、巻きずし ピザ、ハロウィン、クリスマスケーキ バレンタイン	4, 6, 8, 10 12, 2月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手作りクッキーでクリスマス会	(目的) 障がいのある子どもたちの居場所作りや地域のボランティアさんと交流することで、顔の見える関係づくり。 (内容) ケアプラザの利用団体さんにクッキーづくりの講師をお願いし、一緒に行いました。	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ナイトヨガ	(目的) 夜間の時間帯の稼働率の向上、日中仕事を していて運動ができない方のために開催。 (内容) ヨガ	毎月第2, 4 月曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

平成30年度 自主事業報告書

<p>にじいろ コンサート</p>	<p>(目的) 小学生、中学生、地域の方による身近な場所での演奏会。 (内容) 小学校のコーラスクラブ、中学校の吹奏楽地域の演奏者が小学校の体育館で演奏会を行いました。</p>	<p>12月 1回</p>
-----------------------	--	-------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>みんなの歌広場</p>	<p>(目的) 声を出すことによる健康づくり 閉じこもり予防。 (内容) ピアノに合わせて全員で一緒に歌を歌いました。</p>	<p>毎月第4木曜日 11回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
<p>多世代交流カレー昼食会</p>	<p>(目的) 地域の中の方が自由に話せる交流の場 (内容) カレーを食べながら多世代交流を行いました。</p>	<p>8月 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>多世代交流</p>	<p>(目的) 子育て世代と高齢者の多世代交流。声のかけあえる関係づくり。 (内容) 災害対策の講話、実演を行いました。</p>	<p>5月 1回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末大掃除	(目的) 貸館団体のボランティア活動の一環。 (内容) 多目的ホール、ボランティアルーム、ケアルーム、調理室の大掃除を各団体数名参加して行いました。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラカフェ	(目的) 地域の方が自由にいられる空間に飲み物の提供により多世代交流の場として活用してもらうことで顔見知りの関係づくり (内容) コーヒーメーカーの設置を行いました。	7月～ 104回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
頭・体・体操	(目的) 健康は自分で守るということで健康寿命を延ばしていくことを目的としてケアプラザ内、地域での体操の啓発を行っていきました。 (内容) 体感の講話、ウォーキング、栄養、姿勢測定ピラティス、コグニサイズなど * 共催事業：包括支援センター	7月～8月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講座	(目的) ケアプラザの事業に関わっているボランティアに向けて認知症の理解 (内容) キャラバンメイトによる講話を開催しました。	6月 2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とび箱・マット教室	<p>(目的) 子どもの運動能力の低下が言われていることと、養育者からの実施してほしいというお声から実施しました。</p> <p>(内容) 富岡小学校の体育館で2日間、とび箱、マットの教室を実施しました。</p>	8月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじのクッキング	<p>(目的) 定年退職されての仲間づくり。生きがいを家族からの料理教室があるとよいというお声などがあり企画</p> <p>(内容) 男性限定の料理教室を開催しました。</p>	9月から 7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て講座	<p>(目的) ひかりが丘町内会館を利用することで、ケアプラザまで来ることが難しい子育て世代への講座を開催</p> <p>(内容) 講師を招き、子育てについての勉強会を開催しました。</p>	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康のたちより処	<p>(目的) 第三地区保健活動推進員と連携をとり、若い世代への運動啓発の場を開催。また、商店街の空き店舗利用</p> <p>(内容) 体力測定（ロコモチェック、握力、BCチェッカー）</p> <p>*協力：富岡第三地区保健活動推進員</p>	10月～ 6回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
がんばらない体操の会	<p>(目的) 体力が落ちてきたことを実感し、地域の体操教室ではきつく感じるようになってきた高齢者が負担感なく体操を続け、交流できる場として開催</p> <p>(内容) ゆるやかな体操と簡単な昼食会</p>	毎月第2月曜日 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操の先生になってみませんか	<p>(目的) 地域の中に新しく体操教室や「がんばらない体操の会」を展開していくための指導者育成</p> <p>(内容) 金沢スポーツセンター所長を講師に迎え、体操指導の講義と実技指導</p>	11月～12月 3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
利用者懇談会	<p>(目的) ケアプラザの貸館団体へむけて、ケアプラザについての話と貸館団体同士の交流。</p> <p>(内容) 貸館について、ケアプラザとはという話や団体同士の情報交換会を行いました。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 富岡第一地区社会福祉協議会と並木地域ケアプラザ、金沢病院との共催事業。ケアプラザまで来ることが難しい方に向けて近く の 会館での開催。</p> <p>(内容) 金沢病院の「整形外科での腰痛治療」の講演会を行いました。</p>	12月 1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
けあぷら広場	(目的) 放課後の居場所作り。 (内容) ボランティアルームを開放し、15時から夕方 の時間で居場所を作りました。	毎週火、金曜日 73回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ	(目的) 住み慣れた地域で安心して過ごしていただくため に 認知症についての理解を深め、地域でのつながり や 支え合いの輪を広めていく。 (内容) 本人や家族が気軽に集える場とし、介護の不安や 悩み、介護保険や困りごとの相談。ケアプラザ事 業 の紹介などを行いました。	毎月第3火曜日 6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
女性の健康エア ロビクス	(目的) 女性の健康づくりの場。情報交換、交流の場 作り (内容) 金沢スポーツクラブと共催。エアロビクスを 行いました。	毎月第1、3月曜日 25回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡リハビリ教室	(目的) 中途障がいの方を中心にリハビリ教室。 健康維持 (内容) 金沢スポーツクラブと共催。講師によるリハ ビリ体操を行いました。	毎月第2水曜日 12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市大ボランティア講座	<p>(目的) 横浜市立大学と連携をし、大学生へ向けて広くボランティア活動の啓発を行い、ボランティア活動者の獲得。</p> <p>(内容) 金沢区社会福祉協議会、9ケアプラザ共催による、座学、実地、振り返りの3回講座を行いました。</p>	4～6月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学校と施設の連絡会	<p>(目的) 担当エリア、周辺の施設、学校関係との情報交換の場。</p> <p>(内容) 最初は自己紹介、続いて名刺交換、自由に聞きたいことを話しました。 共催：能見台地域ケアプラザ</p>	6月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
富岡コグニサイズ	<p>(目的) 多くの高齢者に認知症になることなく元気に過ごしていただく。</p> <p>(内容) 運動課題と認知課題を同時に行うコグニサイズのエクササイズの実践。</p>	毎月第2火曜日 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマイルカフェ	<p>(目的) 住み慣れた地域で安心して過ごしていただくために地域でのつながりや支え合いの輪を広めていく。</p> <p>(内容) 本人や家族が気軽に集える場とし、介護の不安や悩み、介護保険や困りごとの相談。ケアプラザ事業の紹介などを行いました。</p>	毎月第4月曜日 9回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康フェア	<p>(目的) ご自身の健康に関心を持ち、地域の活動の場を増やし、地域のつながりを強める。</p> <p>(内容) ①ストレッチ②体力測定・ロコモチェック③コグニティブの実践④社交場の提供⑤ボランティア活動の⑥昼食提供。</p>	年1回 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西ハイツサロン	<p>(目的) 地域ケアプラザと同一敷地内にある市営住宅（西ハイツ）の住民を中心に、住民同士のつながりができる場づくり。</p> <p>(内容) 住民どうしでおしゃべりができ、顔が見え、安心できる場を、生活相談室で開催。出入り自由でお茶とお菓子を用意する。ケアプラザ職員と民生委員で運営した。</p>	毎月第2木曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>(目的) 介護者同士が交流、情報交換をし、精神的負担を軽減し、無理なく介護を続けることができるよう支援する。</p> <p>(内容) 日頃の介護の悩みを自由に話せるよう雰囲気づくりをし、認知症の家族のこと、施設への入居、近所にもつながった。5月 「高齢者にも食べられるサクサクお好み焼きをつくろう」を実施</p>	毎月16日 11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーライフ 安心講座	<p>(目的) 老後の安心した生活を送るために必要な知識、啓発を図る。</p> <p>(内容) 外部講師による「人生の充実期をむかえるために整理する物」「現役世代にもきいてもらいたい これから必要なお金の話」の講座を実施した。</p>	3月4日、18日計2回 開催

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡第三民生・児童委員とケアマネジャーとの連絡会	<p>(目的) 民生・児童委員と同じ地区を担当するケアマネジャーとが、顔合わせし、お互いが活動上の悩みや課題について話し合うことで連携を図ること。</p> <p>(内要) 地区ごとにグループになり、事例検討をしたのち、お互いに支援しているケースについて情報共有を行いました。</p>	年1回 7月
事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度「富岡地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,477,000		14,477,000	14,477,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0		0	27,530	△ 27,530	
印刷代			0	17,530	△ 17,530	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	10,000	△ 10,000	自販機設置協賛金
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	18,467,000	0	18,467,000	18,494,530	△ 27,530	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,470,000		10,470,000	10,120,694	349,306	
本俸	7,510,000		7,510,000	7,196,978	313,022	
社会保険料	760,000		760,000	759,833	167	
手当計	2,018,000		2,018,000	1,990,384	27,616	
健康診断費	48,000		48,000	37,179	10,821	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふろんぽ
退職給付引当金繰入額	74,000		74,000	76,320	△ 2,320	
その他	60,000		60,000	60,000	0	
事務費	2,034,400		2,034,400	1,176,318	858,082	
旅費	20,000		20,000	15,494	4,506	
消耗品費	570,000		570,000	408,818	161,182	
会議随行費	10,000		10,000	3,620	6,380	
印刷製本費	20,000		20,000	9,322	10,678	
通信費	360,000		360,000	324,145	35,855	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	570,000		570,000	45,490	524,510	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	33,000		33,000	39,218	△ 6,218	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	2,000		2,000	1,296	704	
リース料	60,000		60,000	11,772	48,228	
手数料	33,000		33,000	32,400	600	
地域協力費	20,000		20,000	7,000	13,000	
その他	326,400		326,400	277,743	48,657	
事業費	572,000		572,000	335,987	236,013	
運営協議会経費	42,000		42,000	23,263	18,737	予算・指定額
指定管理料充当 事業	530,000		530,000	312,724	217,276	
管理費	4,553,000		4,553,000	6,782,482	△ 2,229,482	修繕費含む
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,240,760		2,240,760	4,553,693	△ 2,312,933	
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	236,508		236,508	236,508	0	
修繕費	474,000		474,000	409,053	64,947	予算・指定額
機械整備費	169,942		169,942	169,942	0	
設備保全費	783,790		783,790	788,568	△ 4,778	
空調衛生設備保守	372,726		372,726	372,726	0	
消防設備保守	41,330		41,330	46,108	△ 4,778	
電気設備保守	23,333		23,333	23,333	0	
害虫駆除清掃保守	77,403		77,403	77,403	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	268,998		268,998	268,998	0	
共益費			0	0	0	
その他	648,000		648,000	624,718	23,282	
公相公課	837,600	0	837,600	809,655	27,945	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	837,600		837,600	809,655	27,945	
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
二一対対応費					0	この列は入力しない
支出合計	18,467,000	0	18,467,000	19,225,136	△ 758,136	
差引	0	0	0	△ 730,606	△ 1,563,590	

自主事業費収入	530,000		530,000	665,190	△ 135,190	
自主事業費支出	530,000		530,000	977,914	△ 447,914	
自主事業収支	0	0	0	△ 312,724	312,724	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	19,925	△ 19,925	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	△ 9,600	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	10,325	△ 10,325	

平成30年度「富岡地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,350,000		23,350,000	23,350,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	79,400	△ 79,400	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	7,350	△ 7,350	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	29,925	△ 29,925	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料				19,925	△ 19,925	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)				10,000	△ 10,000	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	29,290,000	0	29,290,000	29,406,675	△ 116,675	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,230,000	0	25,230,000	22,376,455	2,853,545	
本俸	15,169,000		15,169,000	13,527,976	1,641,024	
社会保険料	3,058,000		3,058,000	2,773,681	284,319	
手当計	6,490,000		6,490,000	5,624,029	865,971	
健康診断費	57,000		57,000	50,949	6,051	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	271,000		271,000	235,320	35,680	
その他	185,000		185,000	164,500	20,500	
事務費	1,406,000	0	1,406,000	1,309,644	96,356	
旅費	20,000		20,000	16,131	3,869	
消耗品費	230,000		230,000	199,915	30,085	
会議贈り費	1,000		1,000	0	1,000	
印刷製本費	20,000		20,000	14,411	5,589	
通信費	350,000		350,000	337,150	12,850	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	65,490	△ 15,490	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	155,000		155,000	129,195	25,805	
職員等研修費	0		0	714	△ 714	
振込手数料	6,000		6,000	5,372	628	
リース料	21,000		21,000	3,132	17,868	
手数料	3,000		3,000	13,200	△ 10,200	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	550,000		550,000	524,934	25,066	
事業費	1,240,000	0	1,240,000	812,476	427,524	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	150,000		150,000	61,856	88,144	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	138,590	12,410	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	129,030	179,970	予算・指定額
管理費	1,414,000	0	1,414,000	1,802,929	△ 388,929	修繕費含む
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	792,730	0	792,730	1,210,475	△ 417,745	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	62,868		62,868	62,868	0	
修繕費	126,000		126,000	108,733	17,267	予算・指定額
機械警備費	45,173		45,173	45,173	0	
設備保全費	207,229	0	207,229	209,617	△ 2,388	
空調衛生設備保守	99,079		99,079	99,079	0	
消防設備保守	9,868		9,868	12,256	△ 2,388	
電気設備保守	6,202		6,202	6,202	0	
害虫駆除清掃保守	20,575		20,575	20,575	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	71,505		71,505	71,505	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	180,000		180,000	166,063	13,937	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,290,000	0	29,290,000	26,301,504	2,988,496	
差引	0	0	0	3,105,171	△ 3,105,171	

自主事業費収入				86,750		
自主事業費支出				416,226		
自主事業収支	0			△ 329,476		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				19,925		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				9,600		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				10,325		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 富岡地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知症対応型通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3410	4827	-1417	35732	32964	2768	86802	79158	7644	17847	15050	2797	11475	8778	2697
	その他	5537	6851	-1314	7160	8570	-1410	539	1095	-556				0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	5537	6851	-1314			0			0	通所介護	通所介護		通所介護	通所介護	0
	事業・負担金収入			0			0	368	937	-569						0
	要介護認定調査委託事業収入			0	498	573	-75			0	その他収入に含む	その他収入に含む		その他収入に含む	その他収入に含む	0
	委託事業収入			0	1613	2136	-523			0						0
	サービス区分間繰入金			0	5049	5861	-812			0						0
	その他			0			0	171	158	13						0
	収入合計(A)	8947	11678	-2731	42892	41534	1358	87341	80253	7088	17847	15050	2797	11475	8778	2697
	支出	人件費			0	36191	37436	-1245	76346	72015	4331					
事務費				0	1061	1215	-154	2869	2517	352						0
事業費				0	2	0	2	10326	10340	-14						0
管理費				0			0	10056	9179	877						0
その他		8947	11678	-2731	519	519	0	4757	4509	248	通所介護	通所介護		通所介護	通所介護	0
利用者負担軽減額				0			0			0						0
消費税				0			0			0						0
介護予防プラン委託料		3898	5817	-1919			0			0	支出に含む	支出に含む		支出に含む	支出に含む	0
サービス区分間繰入金支出		5049	5861	-812			0			0						0
賃借料支出				0			0	4145	3990	155						0
ファイナンス・リース債務の返済支出				0	519	519	0	519	519	0						0
その他			0			0	93	0	93						0	
支出合計(B)	8947	11678	-2731	37773	39170	-1397	104354	98560	5794	17847	15050	2797	11475	8778	2697	
収支(A)-(B)	0	0	0	5119	2364	2755	-17013	-18307	1294	17847	15050	2797	11475	8778	2697	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。